

## 最近の機械貿易動向(4月)～機械輸出は18.3%の大幅増、2ヶ月連続二桁増～

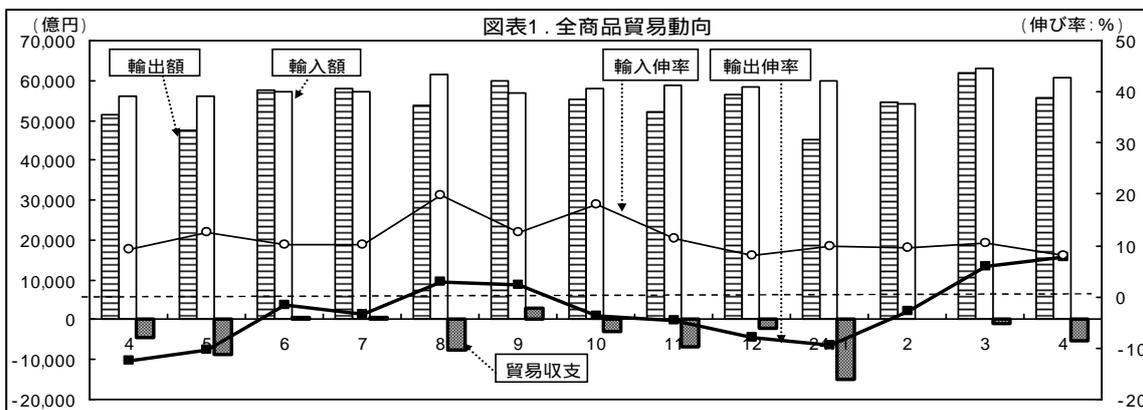
日本機械輸出組合 2012.6.21.

4月の機械輸出額は、3兆7,029億円、対前年同月比18.3%増と2ヶ月連続で二桁の大幅増となった。これは、機械輸出額の約1/3を占める自動車約2倍増と北米を中心に全地域向けに大幅に増加したこと、昨年4月の機械輸出が18.3%減と大幅に減少したことが主因である。

5月については、円高減少要因は前年比1.2ポイント減と僅かであるが、営業日が2日多いこと(10.5ポイント増)から合計9.3ポイント増となり、また、前年5月の機械輸出額が大幅に落込んでいること(12.8%減)から、二桁増となる可能性が高い。5月の機械輸出額は、15.1%増となった。

### 1. 全商品貿易動向～輸出、輸入ともプラス、貿易収支は2ヶ月連続で貿易赤字～

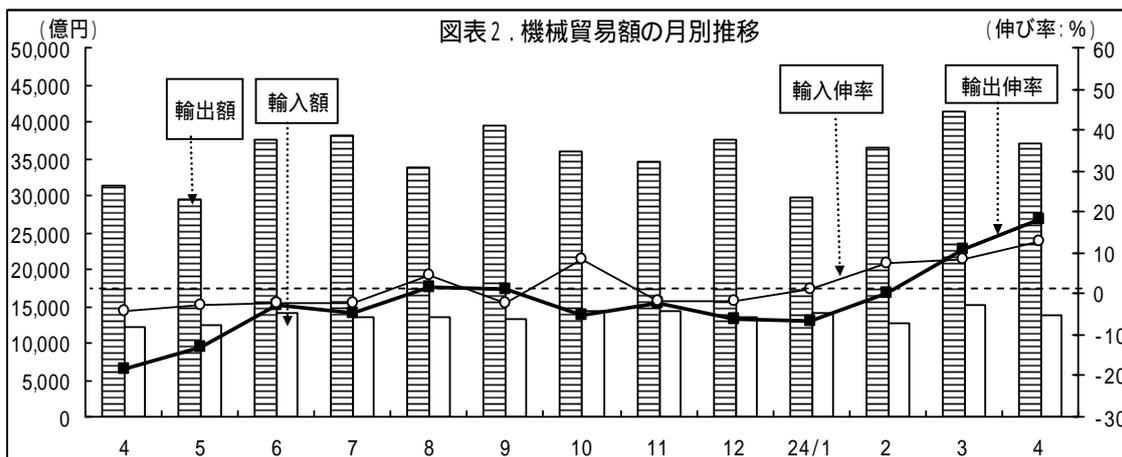
- 1)平成24年4月の全商品輸出額は5兆5,659億円、前年同月比(以下同じ)7.9%増と2ヶ月連続でプラスとなった(3月5.9%増)。これは、全輸出額の25%を占める自動車等輸送用機器(81.9%増)が大幅に増加したことによる。
- 2)輸入額は6兆879億円、前年同月比8.1%増と依然、高水準で推移しており2年4ヶ月連続でプラスとなった(3月10.6%増)。これは、全輸入額の約37%を占める原油・ガス等鉱物性燃料(24.6%増)が高水準の伸びを続けているほか、10.6%の電気機器(13.6%増)、3.1%の航空機類等輸送用機器(40.3%増)が増加したためである。
- 3)この結果、4月の貿易収支は5,220億円の入超となり、2ヶ月連続の貿易赤字となった。



### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～機械輸出は18.3%の大幅増、2ヶ月連続で二桁増～

- 1)全商品輸出額の約67%を占める4月の機械輸出額は3兆7,029億円、18.3%増と2ヶ月連続で二桁の大幅増となった(3月10.9%増)。輸出額の水準は、リーマンショック前の平成20年4月に比べると、78.8%と前月とほぼ同水準であった(3月79%)。
- 2)一方、全商品輸入額の23%を占める機械輸入額は、1兆3,724億円、12.8%増と4ヶ月連続でプラスとなった(3月8.3%増)。輸入額の水準は、リーマンショック以前の90.3%と前月より2.4ポイント上昇した(3月87.9%)

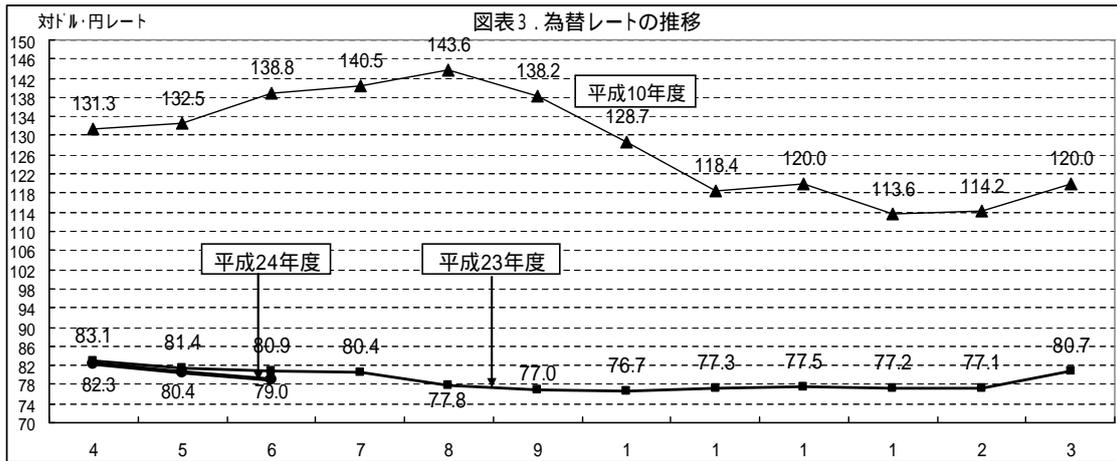


(2) 為替動向・営業日～4月は僅かな減少要因、5月は為替は1.7%減、営業日は10.5%増～

1) 4月は1ドル=82.3円と円安はさらに進んだが、前年比では0.9%の円高であり、また、対ユーロ=108.4円では7.7%の円高となり、合計1.2%の僅かな為替減少要因となった。営業日は同じであった。4月の輸出額は18.3%増であったが、実質的伸び率については、前年の輸出額が大震災で18.3%減と大幅に落ち込んだ反動もあり、為替要因を加えると約20%増と大幅な伸びとなっている(3月18%増)。

2) 5月は1ドル=80.4円と欧州信用不安の再燃で再び円高となり、前年比では1.2%の円高であり、また、対ユーロ=105.1円では10.8%の円高となり、合わせて1.7%の僅かな減少要因となった。営業日は2日多いので10.5%増となり、合計9.3%の増加要因となる。

3) 6月は、対ドルが現状の79円とすれば2.3%の円高となり、また、対ユーロが現状の100円とすれば13.7%の円高となり、合わせると2.5%の為替減少要因に止まる。営業日は前年に比べ1日少なく、4.5%の減少要因となり、合計7%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～北米向けは62.1%の大幅増、6ヶ月連続増加、中国向けは7ヶ月連続減少～

1) 機械輸出が増加した地域的要因は、機械輸出額の22%を占める北米向けで、輸出額の48%占める自動車(約2.5倍増)が大幅増となったほか、建設機械(2.1倍増)、デジカメ(2.4倍増)、陸用内燃機関(67.4%増)、工作機械(48.1%増)等が寄与して62.1%増と6ヶ月連続でプラス成長となったこと、22%を占めるその他地域向けでは、中近東(2.2倍増)、大洋州(2.1倍増)が2倍増となった他、ロシア東欧、中南米でも大幅増となり、機種では、全体の約52%を占める自動車(約2.3倍増)、建設機械(61.2%増)、工作機械(57.6%増)、デジカメ(2.1倍増)の増加が寄与して41.8%増となったこと、28%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けで、インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナムが2ケタの大幅増となり、業種では、自動車、産業機械、建設機械、工作機械が増加し、7.3%増となったこと、11%を占めるEU向けで、全体の30%を占める自動車(36.5%増)、建設機械(76.1%増)、デジカメ(54.9%増)等が増加し、3.0%増となったことによる。

2) 他方、16%を占める中国向けは、全体の19%を占める半導体製造装置等産業機械(31.1%減)、建設機械(57.0%減)、重電機機械(16.2%減)等が大幅に減少し、10.5%減と7ヶ月連続マイナスとなった。

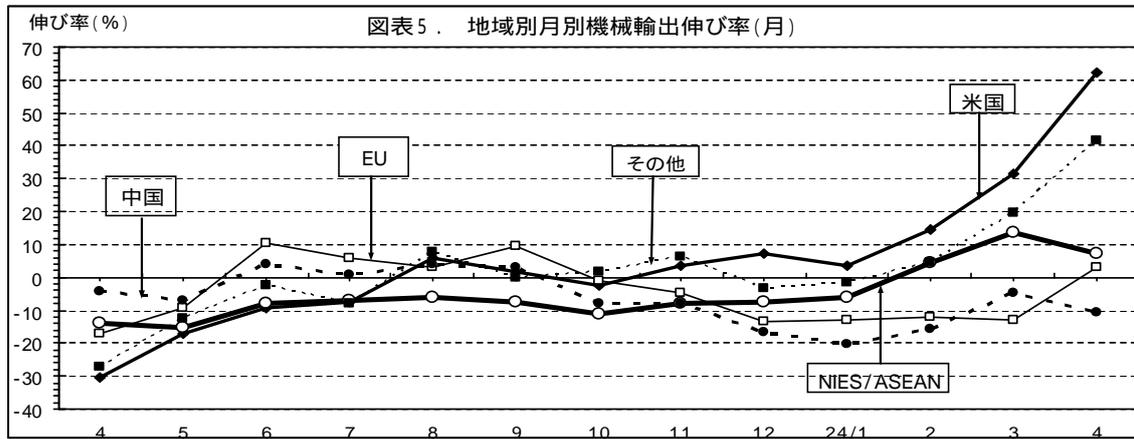
3) また、リーマンショック前の平成20年4月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えたのは皆無となり、中国は90%台、NIES/ASEAN、北米が80%台、その他の地域は70%台、EUは50%台に留まっている。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2012/2			2012/3			2012/4			対08年 4月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	36,606	0.3	100	41,349	10.9	100	37,029	18.3	100	0.78
北米	8,429	14.7	23.0	8,847	31.7	21.4	8,299	62.1	22.4	0.83
EU	4,213	11.9	11.5	4,278	12.8	10.3	4,128	3.0	11.1	0.52
NIES/ASEAN	9,966	4.5	27.2	11,712	13.6	28.3	10,488	7.3	28.3	0.85
中国	6,221	15.7	17.0	7,107	4.9	17.2	5,957	10.5	16.1	0.92
その他	7,778	4.5	21.2	9,404	19.4	22.7	8,157	41.8	22.0	0.77

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2012/1		2012/2		2012/3		2012/4	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,605	0.8	1,817	6.6	2,089	7.2	1,766	4.5
台湾	1,129	30.8	1,552	14.3	1,655	12.9	1,578	11.9
香港	1,177	8.5	1,341	8.0	1,576	10.4	1,518	3.2
タイ	1,349	0.5	1,890	22.1	2,278	45.0	1,978	29.1
シンガポール	721	19.7	759	7.7	1,008	9.5	885	5.2
インドネシア	769	42.5	856	25.3	1,148	80.9	1,015	56.7
マレーシア	613	8.4	749	4.3	809	3.0	705	1.0
フィリピン	471	6.9	551	31.3	599	41.4	575	38.4
ベトナム	221	9.4	325	24.9	422	50.2	354	24.4
その他地域								
中南米	2,476	1.5	2,364	15.2	2,751	1.7	2,768	17.8
中近東	1,216	10.6	1,648	12.9	1,818	35.5	1,452	124.4
大洋州	1,119	3.1	1,202	5.2	1,605	70.0	1,412	117.5
ロシア東欧等	913	16.1	1,291	4.8	1,357	17.8	1,291	50.5
アフリカ	599	21.9	633	20.6	1,129	35.7	673	5.2
インド	380	27.6	488	12.1	547	14.5	415	7.4

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～自動車は約2倍、建設機械、工作機械、農業機械は2ケタの大幅増～

- 業種別では、全19業種中プラスとなったのが12業種で、前月より1業種増加した。全体の約33%を占め機械輸出を下支えしている自動車(96.3%増)が約2倍増となったほか、建設機械(35.2%増)、工作機械(15.4%増 2年3ヶ月連続)、民生用電子機械(11.7%増)、陸用内燃機(15%増)、農業機械(11.7%増)等が二桁増となった。他方、電子デバイス(10.5%減 16ヶ月連続)、軽電気機械(10.2%減)、ベアリング(9.6%減)、繊維機械(44.7%減 9ヶ月連続)等が大幅なマイナスとなった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えているのが船舶、医療機械、工作機械、ベアリング、光学機械の5業種で、他方、電子計算機、産業車両、民生用電子機械、繊維機械、通信機械、農業機械は40～60%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き (単位: 億円, %)

機種名	2012/2			機種名	2012/3			機種名	2012/4			対08/4比
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア	
自動車	12,664	4.3	34.6	自動車	13,175	34.7	31.9	自動車	12,359	96.3	33.4	0.74
産業機械	6,646	0.6	18.2	産業機械	7,231	2.0	17.5	産業機械	6,523	6.9	17.6	0.88
電子デバイス	2,721	5.9	7.4	電子デバイス	3,037	9.2	7.3	電子デバイス	2,634	10.5	7.1	0.69
船舶	1,621	3.8	4.4	船舶	2,212	15.8	5.3	船舶	2,181	3.9	5.9	1.21
軽電気機械	1,710	11.4	4.7	軽電気機械	1,995	3.0	4.8	軽電気機械	1,801	10.2	4.9	0.71
民生用電子機械	1,538	6.2	4.2	民生用電子機械	1,993	13.5	4.8	民生用電子機械	1,764	11.7	4.8	0.54
重電気機械	1,744	2.1	4.8	重電気機械	2,413	13.2	5.8	重電気機械	1,744	5.5	4.7	0.85
軽機械	1,272	0.3	3.5	軽機械	1,519	16.9	3.7	軽機械	1,333	7.4	3.6	0.76
光学機械	1,169	3.1	3.2	光学機械	1,254	0.8	3.0	光学機械	1,267	2.6	3.4	1.03
建設機械	1,242	1.1	3.4	建設機械	1,649	37.1	4.0	建設機械	1,256	35.2	3.4	0.84
工作機械	933	22.1	2.5	工作機械	1,163	25.6	2.8	工作機械	854	15.4	2.3	1.10
通信機械	455	2.9	1.2	通信機械	540	17.0	1.3	通信機械	477	6.3	1.3	0.55
電子計算機	418	1.6	1.1	電子計算機	505	3.4	1.2	電子計算機	397	0.6	1.1	0.40
ベアリング	345	10.0	0.9	ベアリング	395	7.0	1.0	ベアリング	378	9.6	1.0	1.06
陸用内燃機関	387	10.2	1.1	陸用内燃機関	448	3.1	1.1	陸用内燃機関	356	15.0	1.0	0.81
医療機械	295	3.9	0.8	医療機械	423	17.1	1.0	医療機械	283	1.3	0.8	1.15
繊維機械	179	24.7	0.5	繊維機械	207	25.1	0.5	繊維機械	140	44.7	0.4	0.54
農業機械	148	3.0	0.4	農業機械	178	25.8	0.4	農業機械	151	11.7	0.4	0.62
産業車両	132	3.7	0.4	産業車両	141	1.9	0.3	産業車両	117	14.1	0.3	0.49
19業種合計	35,619		97.3	19業種合計	40,478		97.9	19業種合計	36,015		97.3	0.78

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: ティカ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD・プリンター等部品。  
軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～乗用車、建設機械、デジカメは大幅増、繊維機械、半導体製造装置は大幅減～

- 1) 高い伸び率を示した機種は、北米、その他地域、韓国・台湾等向け乗用車(3.2倍)、北米、中国、EU、その他地域等向けデジカメ(87.1%増)、北米、ASEAN、EU等向け建設機械(35.2%増)、ASEAN、北米、その他地域等向け磁気カード・ディスク等(17.9%増)、ASEAN、北米、その他地域等向け工作機械(15.4%増)、北米、EU、ASEAN等向け陸用内燃機関(15.0%増)、その他地域、ASEAN、北米等向け産業車両(14.1%増)、北米、ASEAN、その他地域等向け自動車部品(14.1%増)、EU、ASEAN等向け産業用ロボット(12.7%増)、EU、ASEAN、北米等向け分析・試験・検査機(11.3%増)となっている。
- 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、電池(51.0%減)、繊維機械(44.7%減)、半導体製造装置(28.8%減)、原動力機械(22.7%減)などであった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2012/2			2012/3			2012/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
電子応用装置	64	77.0	発電機	242	63.1	乗用車	6,882	219.9
原動力機械	499	35.7	デジカメ	794	41.9	デジカメ	672	87.1
発電機	119	25.6	乗用車	7,241	39.3	建設機械	1,256	35.2
工作機械	933	22.1	電子応用装置	76	38.7	磁気カード・ディスク等	170	17.9
貨物自動車	816	19.9	建設機械	1,649	37.1	工作機械	854	15.4
金属加工機	298	18.7	磁気カード・ディスク等	198	26.0	陸用内燃機関	356	15.0
機種合計	2,729	7.5%	農業機械	178	25.8	産業車両	117	14.1
			工作機械	1,163	25.6	自動車部品	4,141	14.1
			機種合計	11,541	27.9%	産業用ロボット	109	12.7
						分析・試験・検査機	754	11.3
						機種合計	15,311	41.3%

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2012/2			2012/3			2012/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
繊維機械	179	24.7	繊維機械	207	25.1	電池	173	51.0
運搬機械	205	15.1	半導体製造装置	1,317	17.4	繊維機械	140	44.7
民生用電気機械	281	13.5	船舶	2,212	15.8	半導体製造装置	1,156	28.8
半導体製造装置	1,374	12.0	機種合計	3,736	9.0%	原動力機械	345	22.7
民生用電子部品	689	11.9				民生用電子部品	780	16.5
軽電気機械	1,710	11.4				電子デバイス	2,634	10.5
陸用内燃機関	387	10.2				軽電気機械	1,801	10.2
機種合計	4,825	13.2%				TV	83	10.2
						機種合計	7,112	19.2%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \*機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～携帯、航空機が大幅増～

- 1) 4月の機械輸入伸び率は12.8%増と4ヶ月連続でプラスとなったが、その要因は、二大輸入機種である電子計算機(11.9%増)が3ヶ月連続増加となった他、携帯電話(2.1倍増、2年9ヶ月連続)、航空機(71.9%増)、白物家電(20.2%増)、自動車部品(16%増)が大幅増となったことなどによる。

一方、二大輸入機種である電子デバイス(0.2%減)は依然マイナスが続いている他、光学機械(2.0%減)、分析・試験・検査機(3.7%減)が減少となった。

- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、白物家電、TV、医療機器、エアコン、時計、録画・再生機器、ラジオとなっている。

- 3) 地域別機械輸入額は、中国(21.2%増)、北米(17.7%増)、ASEAN(4.9%増)、EU(5.8%増)、韓国・台湾(2.1%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2012/2				2012/3				2012/4			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,625	11.7	12.9	電子計算機	1,896	7.0	12.6	電子計算機	1,748	11.8	12.7
電子デバイス	1,277	7.2	10.1	電子デバイス	1,421	0.3	9.4	電子デバイス	1,335	0.2	9.7
携帯電話	751	84.7	6.0	携帯電話	760	28.4	5.1	携帯電話	754	118.2	5.5
乗用車	631	42.1	5.0	乗用車	735	18.5	4.9	航空機	694	71.9	5.1
自動車部品	584	10.6	4.6	自動車部品	685	10.8	4.6	白物家電	626	20.2	4.6
重電気機械	543	3.4	4.3	重電気機械	629	2.3	4.2	自動車部品	614	16.0	4.5
医療機器	464	2.2	3.7	航空機	614	558.8	4.1	重電気機械	595	0.0	4.3
白物家電	389	3.9	3.1	白物家電	559	13.7	3.7	乗用車	575	5.2	4.2
航空機	320	1.0	2.5	医療機器	534	3.2	3.5	医療機器	422	3.5	3.1
分析・試験・検査機	303	10.4	2.4	光学機械	335	6.5	2.2	民生用電子部品	276	2.6	2.0
光学機械	264	19.5	2.1	民生用電子部品	313	2.2	2.1	光学機械	293	2.0	2.1
民生用電子部品	254	4.6	2.0	分析・試験・検査機	307	4.6	2.0	分析・試験・検査機	222	3.7	1.6
12機種合計	7,405		58.8	12機種合計	8,481		56.4	12機種合計	8,154		59.4

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。 白物家電:民生用電気機械